

三島駅南口周辺の開発

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第 25 回は、「三島駅南口周辺の開発」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島駅南口周辺の開発については、最近、耳にする機会も多いのですが、改めて事業の概要についてお聞かせください。

市長： 三島駅南口の東西には、現在、駐車場として暫定利用している土地が広がっていますが、この土地を生かして、三島市の顔に相応しい、にぎわいと交流の拠点を整備していこうという事業で、30 年近く検討が続けられている、三島市にとっての一大プロジェクトです。

アナ： 随分長く検討が続けられている事業なんですね。最近では、広報みしまでの特集記事や、市民説明会も開催されるなど、いよいよ事業が動き出すのかな、という感じがしているのですが。

市長： はい、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催が契機となり、民間事業者の三島市に対する注目も高まっています。今が開発の絶好の機会と捉えており、民間活力を生かして事業を実現させていきたいと考えています。

アナ： 期待が高まりますね。となると、三島駅南口が、どのように生まれ変わるのかが気になります。

市長： 三島駅周辺のまちづくりのビジョンを示すため、平成 24 年 3 月に、「三島駅周辺グランドデザイン」を策定しています。このグランドデザインは、市民ニーズ調査や団体へのヒアリングなど、市民の皆さんと共有しながら作り上げたことが特徴で、三島駅南口の西側を「広域観光交流拠点」、そして東側を「広域健康医療拠点」、と位置付け、実現に向けて取り組んでいます。

アナ： 具体的にはどのような施設になるのでしょうか。

市長： 西の「広域観光交流拠点」では、ホテルを中心とした施設を整備していきます。東の「広域健康医療拠点」では、健康づくり・にぎわいづくりの拠点を住宅整備と併せ行っていく予定です。どちらの事業も民間事業者による提案を選定する中で、具体的な事業計画を決定していきます。

トレンドに敏感な若い女性の意見は、にぎわいづくりの面では非常に重要なので、ちょっとお伺いしたいのですが、高橋アナは、三島駅南口に、こんな機能が入ったらいいな、というアイデアはありますか。

アナ： え〜。突然ですね。 う〜ん、□□なんていかがでしょうか。

市長： とても面白いアイデアですね。事業者にもお伝えして、提案に盛り込めないか検討をお願いしていきたいと思えます。

アナ： 自分のアイデアが盛り込まれるかもしれないと思うと、実現がより一層待ち遠しくなります。事業のスケジュールはどのようになっているのでしょうか。

市長： 西の観光交流拠点につきましては、今、まさに事業者公募の真っ最中で、多くの事業者からの提案をお待ちしている状況です。2020年東京オリンピックまでに開業できるよう、事業を進めていきます。

東の健康医療拠点については、今年度中に事業検討のパートナーの公募を行い、事業化に向けた具体的な検討に入っていきたいと考えています。

アナ： 三島駅南口が生まれ変われば、三島市の魅力もアップしますね。

市長： 少子高齢化が急速に進行する中、三島市が持続的に発展をしていくためには、多くの若い世代の方に三島に住んでもらうことが必要です。そのためには、三島のまちを活性化させ、より多くの民間投資を呼び込むことが求められます。

駅前の開発は、そのためにも何としても実現しなければならない事業です。

また、三島市だけでなく、富士・箱根・伊豆地域全体の発展につながる、そんな施設を整備していきたいと考えています。

アナ： 三島駅南口の開発について、もっと詳しくお聞きしたいところですが…

市長： 三島市のホームページでは、三島駅南口の再開発について、過去の経過も含め情報提供を行っています。また、事業者公募に関する情報も掲載しています。詳しくは、ホームページをご覧くださいと思います。

アナ： ホームページで確認してみようと思います。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。